



母教会会長
210 Massachusetts Avenue
Boston, MA 02115
U.S.A.
+1 617 450 2000
info@christianscience.com
christianscience.jp

2026年1月

母教会会員のみなさま、

何年も前に、私が妻と共に北アフリカを旅行していたとき、滞在先の村に住んでいた青年と出会いました。数週間にわたり定期的に一緒に過ごしているうちに彼は私たちが読んでいた本について尋ね、『キリスト教科学クオータリー』に掲載されている聖書教課を毎朝一緒に読みたいと言いました。強要したり気まずくなったりすることはなく自然にそうなったのです。青年は聖書に精通していました。そこで、メリー・ベーカー・エディが理解していたこと「すなわち、キリストの力、が、世の罪を取り去る」ことを直感的に理解していたようです(『科学と健康 - 付聖書の鍵』 p.150)。あとになり知ったのですが、彼は毎日帰宅して、父親に『科学と健康』を読み聞かせていたということです。父親は、アルコール依存症で苦しんでいたのですが、ついにそれから自由になりました。青年は、また地元の牧師とも考えを分かち合いました。牧師は『科学と健康』に深く感銘し、自分の説教の土台として活用し始め、聖書のより深い靈的な理解を引き出すために引用までしました。

父の仕事に携わるとはどういうことか、すなわち、キリスト教科学の使命を行う仕事とはどのようなものであるかを考えるとき、時々、この友人のことが心に浮かびます。彼は「教会の仕事」をしようとしていたわけではありませんが、私たちみなが目指している「教会の仕事」をしていたといえます。つまり、考えの雰囲気を靈的に高めるというキリストを表わす生き方を自然に実践して、真理の光と愛で心の暗闇をぬぐい去ることです。彼は「愛は愛に反映されて」いることを表わしていたのです(『科学と健康』 p.17)。

ルカによる福音書の第10章38節から42節に記されているイエスがマルタとマリヤを訪ねた話を通して、イエスは、すべきことや集中すべき重要なことが山積みのように思える時、私たちはどこに焦点をあわせ注意を向けるべきかを教えてています。

イエスが必要なことはただ一つであると言ったとき、マルタを叱責したわけではありませんでした。マルタは明らかにイエスとその使命を非常に大切であると考えていました。私は、これは極めて重要な考え方の方向転換を示したと考えています。つまり、私たちが考えを全面的に神に向け、全面的に靈的に受け

入れることです。イエスが、私たちひとりひとりを含むすべての人に教えていたことは、私たちの最も重要な使命、すなわち、神を至高に愛し、私たちの隣人を自分を愛するように愛すという仕事をまず実践すること、そして、次に、この最も重要な仕事とこれ以外のことに私たちの注意を向けさせてしまう非常に多くの事との違いを、見分けることでした。

そして、このただ一つの必要なことを私たちが受け入れこれに注意を向けることが、2025年度母教会の年次総会のテーマ、「あなたが仕事をするとき時代は勝利する」(メリー・ベーカー・エディ著 *The First Church of Christ, Scientist, and Miscellany*『第一科学者キリスト教会と文集』 p.188) という言葉を生きる上で重要な要素となるのではないでしょうか?私たちが仕事をするとき、つまり、私たちが個々に行う実践そして教会のために私たちみなが行う実践を大切に思うとき、次の段階は、私たちの考えがマリヤの目指していたただ一つの必要なことに向かっているか、または、マルタが引き込まれてしまった「多くのことに心を配って思い煩っている」方向に向かっているかを自問することができます。私たちは自分の仕事を、ただ一つの必要なこと、すなわちキリストによる癒しの科学に、決意をもって捧げる力強い一步を踏み出すことができるのです。

私たちの教会について考えるとき、私はみなさまひとりひとりと一致団結・協力して、「世の罪を取り去る」キリストの力、を実証してゆく姿を思い浮かべます。東アフリカの友人の良き手本を思い、イエスが行っていたことまたエディ夫人が私たちの指導者としてイエスに従いこの教会のより高い使命とみなしたこと、私たちひとりひとりが、いかに貢献し支え、重大な影響力を發揮できるのか考えています。

私たちみんなが一つの目的と使命を持ち結束すると、私たちの大目的はまとまります。そして、私たちの仕事が誠実で効果的で、最も重要なことに忠実であるために、皆が同じような行動を取る必要はないのです。

心からの感謝をこめて、



母教会会長
ジョシュ・ナイルズ